



観音寺小だより

はまごう かおり
「浜栲の香」

HP: <http://kanonji-es.city-kanonji.ed.jp>

第 1 号
観音寺市立
観音寺小学校



「子どもたちのために」を一番に考えていきます

本年度も1年間 よろしくお願ひします。



新型コロナウイルス感染症予防に配慮してスタートした令和2年度(2020年度)。4月6日(月)の新任式・始業式は、放送だけで行いました。また7日(火)の入学式も、新入生・保護者・6年生・教職員と学校関係の来賓のみで、時間を短縮して行いました。毎朝、正門近くであいさつ立哨していても、子どもたちはきちんとマスクをしているので、お互いの顔を覚えることもなかなかできませんでした。それでも、3月初めから1カ月臨時休校になっていたことを考えると、学校内に子どもたちの声が響き渡るのはいいな、子どもたちも先生方も生き生きとしているな、と思えた1週間でした。

しかし、全国的に感染者が急増し始め、2週目からは臨時休校。その後、県内でも毎日のように感染者が増え、臨時休校期間は連休明けまで延長されました。ここは我慢の為所、5月連休明けからは再スタートと思っておりましたが、国の緊急事態宣言の延長に伴い、臨時休校も月末まで再延長されました。子どもたちも、保護者の方も不安とストレスがいっぱいだと思います。でも、一番は子どもたちの安全・安心。5月25日(月)からの分散授業日を挟み、段階的に通常の生活に近づけたいと思います。学校は常に「子どもたちために」を一番に考えていきます。



詳細は次号で説明します。

4/6 新任式・始業式

直前まで、換気や消毒、列の間隔などの徹底・工夫により、直接の出会い、新しい年度のスタートを模索しました。しかし、何よりも児童の安全・安心が大切、ということで放送による式に変更しました。

校長の話では、始めにこれまでに感じていた観音寺小学校の児童のすばらしさを伝えました。そして、そのすばらしさが、「自分に負けるな 本気で取りくめ 仲良く助けあえ」という校訓に裏付けされた、伝統の積み重ねの成果であり、今後も共に引き継いでいくことを確認しました。また、本年度の合言葉として「知恵だせ 笑顔だせ 元気だせ」を示しました。

四月のトピックス



4/7 入学式

本年度の新入生は99名。感染症予防を考慮した、約45分間の入学式でしたが、全員が保護者に祝福され、笑顔で参加できました。



来賓などの挨拶はありませんでしたが、代わりに全校生を代表して参加した6年生から、心のこもったメッセージをもらいました。

今年度は、この99名の1年生を仲間に加え、全校生565名で充実した学校生活を送っていきます。

学校だよりの新タイトル

本校は開校7年目を迎えました。小学校課程が6年間であることを考えると、新しいステージに突入することになります。

それを記念し、学校だよりに新しくタイトルをつけことにしました。校章にもデザインされている、有明浜に群生する「ハマゴウ」。その香りは心を落ち着かせてくれると言われている。観小のシンボルとして、命名しました。

- 引き続き、よろしくお願ひします。
岩田 力は本校で新規採用
昨年度末退職した、木谷厚子・大平美栄子は、本校で再赴任です。
- よろしくお願ひします。
校長 新田 秀樹(栗井小より)
教頭 大山 真器(豊浜小より)
教員 宇川 明子(常磐小より)
教員 富山 藍子(一ノ谷小より)
教員 西 智美(新規採用)
教員 近藤 貴大(蒲生東小より)
教員 石川 明斗(丸亀西中より)
- お世話になりました。
校長 澤田 純三(市教委へ)
教頭 深川 隆(大野原小へ..昇任)
教員 横山 誉子(定年退職)
教員 大西 義則(定年退職)
教員 曾根 洋子(柞田小へ)
教員 石川 千紗(四条小へ)
教員 青井 隆生(中部中へ)

本年度の人事異動により、転出入した教職員です。

年度末及び年度始め、感染症予防のため、十分な御挨拶ができていませんが、以下の教職員が異動しました。